

習字が上手になりますように

# お天神講

お天神講と聞いて子ども  
の頃を思い出したり、育成会で  
準備をしなければと、ちよっ  
とあわてたりする方もいらっ  
しゃるのではないでしょうか。  
お天神講は、学問の神様菅  
原道真公に「勉強ができません  
ように、字が上手になります  
ように」とお願いする子ども  
達のお祭りです。12月25日や1  
月25日に行われ、「奉納天満天  
神」と筆で書いて、それを竹

ざおに吊るして歩いて、天神  
様の祠に祀るものです。  
しかし、お祭りはこれでは  
終わりません。祠から帰ると、  
ケーキやカレーを食べたり、  
みんなで遊んだり、子ども  
たちにとつて、さらに楽し  
みなお祭りが始まるのです。  
ところで、天神様はもとも  
と学問の神様ではなく、雷の  
神様ということをご存知で  
しょうか。天神様と菅原道真



公が結びついたのは、次の理  
由と言われています。道真公  
が陰謀によって大臣の地位を  
追われ、左遷させられました。  
彼の死後、疫病がはやり、日  
照りが続くなどし、そんな時  
朝廷が暮らす清涼殿が落雷を  
受け多くの死傷者が出る事件  
がありました。これが道真公  
の祟りだと言われたのです。  
その後、時がたち、道真公  
が生前優れた学者・詩人で  
あったことから、天神様は学  
問の神さまとして信仰される  
ようになったのです。

菅原道真公は、左遷させら  
れるときに、「東風（こち）吹  
かば匂心をこせよ梅の花主  
なしとて春な忘れそ」とい  
う有名な和歌を詠んでいます  
このようなことから、梅の種  
の中をお天神さんと呼んだり  
します。葦崎中央郵便局の近  
くの梅天神社という名前は、  
和歌から伝わる菅原道真公と  
梅との関係から名付けられた  
のかもしれないですね。

(記事 文化財担当 間間)



神山町鍋山のお天神講の様子です。ノーベル賞を受賞した大村智博士も子どもの頃にお天神講を楽しんだのかもしれないね。

## 葦崎の冬の夜を彩るイルミネーション



11月28日、葦崎駅前で、冬  
の夜を彩る恒例のイルミネー  
ションの点灯式が行われ、昨  
年より5千球多い3万5千球  
の光り輝くLEDが駅前を色  
鮮やかに彩りはじめました。  
また、今年は、ゼクシイと  
の共同企画「ご当地婚姻届」  
の提出カップルによる愛の  
メッセージを書いた絵馬の飾  
りつけが行われるなど、趣向  
を凝らしたイルミネーション  
となっています。

※期間 1月11日(月・祝)迄



▲穴山ふれあいホールでも、1月31日まで  
イルミネーションの点灯を行っています。  
併せてご覧ください。